



クオリティの高い宮城広瀬高校写真部の作品は、今年も注目の的です。

何気ない日常に溢れる“ひろせ”の魅力。
たくさんの写真で集めてみました。



フォト **撮る・観る・想うー** PHOTO HIROSE 2016 ひろせ 開催しました♪



『撮る・観る・想うーPHOTO HIROSE2016』を開催しました。
PHOTO HIROSEは、ふるさと宮城地区の隠れた名所や身近な散歩道、地元
に伝わる行事やお祭りなど、“地域”の暮らし・人の姿をテーマとした地元
アマチュア写真家の皆さんによるミニ写真展です。

3回目を数える今年は、新たに地元の写真グループ「広瀬フォトサークル写
楽人」の皆さんの作品を加え、より身近で地域にちなんだ写真展となり、親
しみやすく身近なものから、プロ顔負けの作品まで、幅広い写真作品約30点
をお楽しみいただきました。



お馴染み、宮城県宮城広瀬高等学校写真部による見事な
写真の数々では、友人や身近な被写体である家族の姿を
追った作品や、地域の町内会のお祭りを楽しむ子ども達
の姿など、人物写真を中心にお楽しみいただきました。

また、古くから当センターで活動している地元写真グ
ループの「広瀬フォトクラブ」の皆さんは、撮影者が散
歩を楽しむ「大梅寺」の石仏や、昨年開校した錦ヶ丘小
学校へ移るために愛子小学校を後にする小学生の姿を捉
えた「さよなら愛子小学校」など、地域の暮らしをテー
マとした写真を展示いただきました。



プロ顔負けのハイレベルな写真から、親しみやすい写真
まで。



撮るも観るも、そして、想うも楽しみ方は人それぞれ。





今回初登場の写楽人の皆さんの写真。宮城地区の自然や文化などを楽しみながら広く地域の魅力を発信することを目指しているとのこと。



さらに、今年初めて参加いただいた「広瀬フォトサークル写楽人（シャロット）」の皆さんは、地元大倉の古民家の静寂を撮った「記憶の中に・・・」や夕暮れの美しい広瀬川の姿を捉えた「静寂の中で」など、宮城地区の豊かな自然写真の多くを展示しました。どこか見覚えがあり親近感の湧く写真に、来館された多くのかたが足を止めて熱心に写真を鑑賞されていました。

広瀬文化センターでは、“マイステージ・マイギャラリー-inひろせ”などの運営をもって、お客様や地域の皆様に文化活動発表の場をご提供しながら、施設の賑わいのある空間創出を目的とした“賑わい空間創出事業”を行っています。PHOTO HIROSE はロビー空間を活用して開催しましたが、今後も様々なかたちで、身近な芸術作品を発表する機会のご提供と、賑わいに満ちた文化センターの空間づくりを進めていきますので、どうぞご協力をお願いします。



豊かな自然と歴史がある宮城地区の姿を見事な写真で表現。



多くの方が立ち止まって鑑賞。皆さんのなかにある、私の宮城地区は見つかりましたでしょうか。

- 期 間 平成28年12月6日（火）から12月18日（日）まで
- 場 所 広瀬文化センターロビー
- 協 力 宮城県宮城広瀬高等学校写真部、広瀬フォトクラブ、広瀬フォトサークル写楽人
- 来場者 延べ2,000名